

高松港頭地区開発構想への対応

高度情報通信センターの  
情報化機能の充実についての提言

— 四国における高度情報拠点の形成をめざして — 2

平成4年3月

香川経済同友会

高松港頭地区開発構想への対応  
高度情報通信センターの情報化機能の充実についての提言  
—四国における高度情報拠点の形成をめざして—

## 目 次

1. はじめに	2 頁
2. 地域情報化の推進にあたって	3 頁
(1) 香川の状況	
(2) 地域情報化推進の配慮点	
(3) 高松港頭地区の重要性	
3. 高松港頭地区開発における高度情報 通信センター機能の充実 [4つの提言]	5 頁
提言-1 四国の中核的な情報蓄積機能の飛躍的な向上をめざす	
提言-2 四国の情報発信機能の飛躍的な向上をめざす	
提言-3 人流による情報交流の充実を図る	
提言-4 地区内の通信インフラの整備及び関連施設の効率的な運 用システムの先駆的な導入を図る	
4. 高度情報通信センターの実現に向けて	7 頁
5. おわりに	8 頁
別表 高度情報通信センターへ導入すべきシステムイメージ	
参考-1 香川県の情報化指標	
参考-2 情報化委員会の検討経緯	
参考-3 情報化委員会名簿	

# 1. はじめに

香川県ことに高松市は、四国四県と本州を結ぶ要所として、国の出先機関や全国企業の支社・支店機能が集中し、地元企業も多く、地方中枢都市圏としての役割を担い発展してきた。しかし、現在においては、地方における高速交通網や高度情報通信ネットワークの整備により、広域的社会環境が整いつつあり、今後は、阪神圏や中国圏等の発展により瀬戸内圏内の高松市の優位性が薄らぐことも懸念されている。

このような情勢をふまえ、香川経済同友会では、先に「高松港頭地区開発構想」を提唱し、高松港頭地区を四国の玄関口としての拠点、四国を代表する中枢・中核都市（四国の顔）としての機能を重視した四国再開発の重要拠点とすることを提言したところである。

今回は、高松港頭地区開発において取り上げるべき高度情報通信センターに関して、高度情報社会に対応する四国の情報拠点の形成、四国における情報受発信基地として整備すべき情報機能について、提唱するものである。

平成4年3月

香川経済同友会

代表幹事 多田野 康雄

代表幹事 丸 山 修

情報化  
委員長 辰 村 裕 司

## 2. 地域情報化の推進にあたって

### (1) 香川の状況

情報化社会が著しい進展を見せている現在、地域の活性化をめざして地域の情報化を進めるためには、香川地域の状況について次の点を認識しておく必要がある。

ア．四国、香川は、四国の島国的要素から情報化が遅れており、高速交通基盤の整備が急速に進んでいる中であって、情報化の取り組みを早急に進め、高速交通体系と情報化がドッキングした地域活性化の基盤作りを推進する必要がある。

イ．高松は、支店経済の街として、四国の中枢・中核的機能を備えているものの情報が一つ一つバラバラになっている傾向にある。地域に役立つ情報を取りまとめ、必要なことが必要なときに容易に利用できる情報化機能を高めて行く必要がある。

ウ．香川では、銀行CDの休日稼働、通販、地域クレジットセンター、銀行POS等情報ネットワークの取り組みは、全国的にみても進んでいる部分もあり、情報化の消化能力は高く、高度情報化社会の到来に対して有利な立場にあり、自信を持って対処することが出来る。

### (2) 地域情報化推進の配意点

地域情報化の推進にあたっては、次の点に配意し、取り組んで行く必要がある。

ア．他の地域に負けない「情報化」の飛躍的向上

全国各地において情報化施策が地域活性化のテコとして利用され、

その展開が、地域の活性化の差として現実のものとなりつつあることから、他地域に先んじて効率の高い情報化の推進を図ることが地域の重要な課題となっており、特に四国の玄関口としての拠点性、四国を代表する中枢・中核都市をめざす高松地域においては、重要なテーマとなっている。

#### イ. 情報通信ネットワークを中心とする情報化の進展

LSI や光ファイバーに代表される情報通信技術の目ざましい発達は、情報通信やコンピュータの発展に拍車をかけ、コンピュータと通信がドッキングする情報通信ネットワークの活用が情報化の充実に大きな貢献をしており、更に ISDN (サービス総合デジタル網) がその進展を加速している。

今後 ISDN の広帯域化や AI コンピュータ、画像通信等情報通信技術の動向に配意しつつ、時間と距離が超越できる情報通信ネットワークを中心に強固な、効率的システムを構築していくことが大切である。

### (3) 高松港頭地区の重要性

香川県では、高速交通体系の整備に併せて、地域活性化をめざして大型プロジェクトの展開が図られている。それらのプロジェクトにおいては、その目的に沿ってそれぞれ機能整備が行われているが、情報通信ネットワークの活用を中心に面的広がりを持った効率的な仕組み作りが望まれる。

特に、高松港頭地区開発は、四国の玄関口としての拠点性、四国を代表する中枢・中核都市としての機能を重視した四国再開発の重要拠点として位置づけられ、その情報機能も四国の情報交流の拠点として機能するよう、四国全体及び瀬戸内、全国、全世界を見たネットワークシステムの構築をめざし、情報基盤の整備を図り、四国地域発展の中核とする必要がある。

### 3. 高松港頭地区開発における 高度情報通信センター機能の充実[4つの提言]

香川経済同友会は、先に提言した「高松港頭地区開発構想」において、高次都市機能として、①国際的コンベンション都市の構築 ②高度情報通信センターの構築を提唱したが、前者がフェース・ツー・フェースを中心とした国内外にわたる情報交流の拠点として開発されることを期待しているのに対し、後者の高度情報通信センターは、四国の情報交流拠点、情報受発信基地をめざすものである。

高度情報通信センターにおいては、次の視点から検討を加え、早期に実現していくことが望ましい。

#### 提言-1 四国の中核的な情報蓄積機能の飛躍的な向上をめざす。

人が健康で幸せな生活を営むために必要な情報や活気あふれる企業経営に必要な情報などを幅広く収集し、四国の情報バンクとして機能する体制を整備する。

特に、香川県経済研究情報センター（SMILS）をはじめ、全国各地のデータベースとのオンラインネットワークの形成を促進し、利用者がタイムリーに情報収集できる機能を充実することが大切である。

#### 提言-2 四国の情報発信機能の飛躍的な向上をめざす。

各種の蓄積情報に対して、当センターに来れば必要な情報が容易に入手できる体制と共に四国をアピールする情報、必要な情報を四国の内外にタイムリーに発信できる機能を充実する。

また、各地に散在する情報源に対して映像（ハイビジョンやハイキャプテン等）などを駆使した情報通信ネットワークを構築し、当センターでアクセスできる機能の充実を図ると共に、地域

情報が全国にリアルタイムに伝達できる放送機能の充実などについても検討を行う。

特に、NHK地域放送センター等を誘致し、地域のニュースを全国へ速やかに伝達する機能を整備することも必要と考えられる。

更に、国際化の潮流に対して諸外国からもアクセスできる体制を考えることも大切である。

### 提言-3 人流による情報交流の充実を図る。

情報交流の充実は、フェース・ツー・フェースの情報交流も大切であり、人々の交流の場作りが重要な課題である。高度情報通信センターにおいても魅力ある情報収集の場として、各種の情報提供に合わせて特産品などの展示場や映像による水族館等「遊」「学」を兼ねた交流の場、カルチャー教室などの充実を図る。

また、外国人観光客の増大に対応することも充分配慮する必要がある。

### 提言-4 地区内の通信インフラの整備及び関連施設の効率的な運用システムの先駆的な導入を図る。

高松港頭地区開発においては、二十一世紀の高度情報社会を支える情報通信基盤としてISDNの基幹となる光ファイバーケーブル等の先端通信施設をCABシステム(Cable Box)等を利用して効率的に整備する。

更に、地区内の関連施設の効率的な運用を行うための最新の関連システムの導入や建物に関しては、最新の技術を駆使したインテリジェント化をめざし、今後各地で展開されるインテリジェントビルの模範として先駆的に導入する。

高松港頭地区の高度情報通信センターが四国における情報交流の中核として、以上に述べた機能を発揮するために必要な、同センターに整備することが好ましいシステムイメージを列挙すれば別表の通りである。

## 4. 高度情報通信センターの実現に向けて

(1) 高度情報通信センターにおいて、別表に示したシステムイメージを実現するためには、

- ①ニーズに沿った優先度、関連施設の状況などの検討
- ②資本回収を含めた運営体制の検討
- ③官民一体体制の確立

等、解決すべき課題が数多くある。

計画策定にあたっては、総合的な検討を行う企画委員会、事業別の検討を行う専門委員会を行政が中心になって設置し、推進して行くことが望ましい。

(2) 計画の推進に当たっては、国の情報化施策（テレポートピア構想、インテリジェント・シティ構想、ハイビジョン・シティ構想、テクノポリス構想、都市拠点総合整備事業など）を包括して効率的に取り組む必要がある。

(3) 別表に示したシステムイメージは、多岐、多方面にわたっており、事業化にあたっては、乗り越えるべき課題も多い。地域の活性化のため、経済界も積極的に参画し、支援して行く必要がある。



## 5. おわりに

- (1) 「現在では、家庭においても端末機を叩けば簡単にいろいろな情報に触れることができ、産業界においては情報ネットワークを経営に取り込むS I S (戦略的経営情報システム) の構築が盛んに行われ、情報化の取り組みは、もはや社会生活や企業経営においても避けて通れないものとなっている」という認識のもとに、香川経済同友会情報化委員会では、次の二つの分科会をもって議論を重ねてきた。

第1分科会 「企業における情報化のあり方」

主 査 牟禮 昌忠 牟禮印刷(株) 代表取締役社長

副主査 人見 八郎 セコム(株) 四国統括部長

第2分科会 「地域社会の情報化の進め方」

主 査 小島 保紀 (株)エスピーエフ 代表取締役社長

副主査 綾 孝幸 (株)四国電子計算センター 代表取締役社長

- (2) 今回の提言は、高松港頭地区開発で取り上げるべき「高度情報通信センター」の足がかりにするためのものであり、今後とも当同友会の高松港頭地区開発特別委員会と連携をとりつつ、より具体的な提言を行うこととしたい。

この、提言が高松港頭地区開発構想の実現に少しでも役立ち、高松地域が四国の核として四国全体の活性化を先導して行くことを期待するものである。

- (3) 最後に、上記の分科会では、当提言の他に「人材育成のための諸施策の促進」や「情報化に対する企業経営者の心構え」などにかかなりの時間をかけ、真剣に議論されたことも併せて記しておく。

別 表

高度情報通信センターへ導入すべきシステムイメージ

	具体的な施設イメージ	特に配慮すべきシステム、施策など
産 業 情 報 の 交 流	1. 企業情報センターの設置	①企業紹介情報システムの構築（Uターン就職希望者向け） ②企業情報交流システム(人事情報、企業立地情報など) ③香川県交流センター間オンラインハイビジョンシステムの構築 ④サイエンスパーク技術情報センターとのオンラインシステムの構築 ⑤全国の技術情報センターとのオンラインシステムの構築
	2. 街づくり資料情報サービスコーナーの設置	①都市計画資料管理データベースシステムの構築 ②地図情報検索システムの構築 ③都市景観シミュレーションシステムの構築（3次元CG） ④大型ビデオプロダクションによる都市計画の紹介、高松市の空の散歩、宇宙から見た高松市の紹介、鉄道コックピットビジョンなど
	3. 映像スタジオ、ビデオ編集室の設置	①社内広報ビデオ、企業PR用ビデオなどの作成、編集
観 光 ・ 特 産 品 情 報 の 交 流	1. 観光情報センターの設置	①四国内の観光マップ、イベントのデータベースの構築 ②パソコン通信、キャプテン等による全国への発信 ③観光地映像（ハイビジョン）の放映（オンライン化の検討） ④旅館・ホテル等予約システムのオンライン化 ⑤観光、イベント、乗車券、ホテル等を組み合わせたチケットの販売（全国主要都市のチケットも販売）
	2. 四国内の特産品展示場、販売所の設置	①無店舗販売システム、受発注システムの構築
	3. 農水産品情報センターの設置	①農水産品の展示・販売所の設置と無店舗販売、受発注システム構築の検討 ②特徴ある農水産品の出荷時期、価格等の情報システムの検討 ③観光農園などの案内システムの構築

文化情報の交流	<p>1. 瀬戸内映像水旅館の建設</p> <p>2. カルチャールームの設置</p> <p>3. CAL教室の設置</p> <p>4. 生涯学習センター設置の検討</p>	<p>①ハイビジョンによるCG立体映像でマジックビジョンを利用した上映（コンセプト：魚のいない水族館）</p> <p>②全国の水族館の紹介</p> <p>①公民館等の連携したイベントの実施</p> <p>②行事案内、施設案内予約システム等の構築</p> <p>③県民ホール、文化会館等との映像（ハイビジョン）オンラインシステムの構築</p> <p>④図書館・文書館、美術館等とのオンラインシステムの構築 特に美術館はハイビジョンによるオンライン化を検討</p> <p>①クイズやゲームボックス等、遊びを取り入れたソフトの整備</p> <p>②電子百科辞典等、パソコンライブラリシステムの整備</p> <p>③パソコン、ワープロ教室等の実施</p> <p>①生涯学習システムの構築</p>
市民生活情報の交流	<p>1. 行政等の映像オンラインシステムによる無人窓口の設置</p> <p>2. 生活情報データベースコーナーの設置</p> <p>3. 情報発信機能を向上するためのNHK地域放送センター等の誘致</p> <p>4. ハイビジョンシアターの設置</p>	<p>①テレビ電話等による行政等の無人相談窓口</p> <p>②住民票、印鑑登録証明書等のオンライン発行</p> <p>③行政データベースシステムの構築とその公開</p> <p>①地域に密着した生活情報データベースシステムの構築</p> <p>②医療情報システムの構築</p> <p>①地域ニュース、ホットニュースの大型ディスプレイによる放映</p> <p>②地域ニュースの映像データベースの構築</p> <p>③CATV局、地方放送局などの共同利用スタジオの設置</p> <p>①ハイビジョン劇場の開設</p>
地区関連施設の情報化	<p>1. ビル管理センターの設置</p> <p>2. CABシステムの導入</p>	<p>①効率的な防犯・防災システムの先駆的導入</p> <p>②インテリジェントビルに相応しいビル管理システムの先駆的な導入</p> <p>③地域冷暖房システムの導入</p> <p>④駐車場群管理案内システムの構築（目的地への最適誘導）</p> <p>⑤環境監視システムの構築（四国的なシステムとして検討）</p> <p>①ISDNの基幹となる光ファイバーケーブル等先端通信技術の導入</p> <p>②CAB管理システムの導入</p>

参考-1

香川県下の情報化指標

1. 新聞・書籍

項 目		全 国	四 国	香 川	備 考
新聞頒布数	数 値	1.26	1.14	1.37	(単位： 部数/1世帯当り) 全国10位
	全国比	100%	90%	109%	
書籍雑誌購買額	数 値	15,728	13,769	15,766	(単位： 円/1人当り) 全国9位
	全国比	100%	88%	100.2%	

(「100の指標から見た香川」平成3年度版から抜粋)

2. 電気通信

(H3.3末現在)

項 目		全 国	四 国	香 川	備 考
電話契約数	数 値	54,082	1,760	424	(単位：千加入)
	全国比	100%	3.3%	0.8%	
ファクシミリ 網加入数	数 値	443	12.0	3.0	(単位：千加入)
	全国比	100%	2.7%	0.7%	
パケット交換 加入数	数 値	239	8.0	3.0	(単位：千加入)
	全国比	100%	3.3%	1.3%	
キャプテン 利用加入数	数 値	103,404	2,056	636	(単位：契約数)
	全国比	100%	2.0%	0.6%	
INS ネット 64	数 値	27,313	448	172	(単位：回線)
	全国比	100%	1.6%	0.6%	
INS ネット 1500	数 値	560	4	3	(単位：回線)
	全国比	100%	0.7%	0.5%	

### 3. テレビ

(H 3 . 3 末現在)

項 目		全 国	四 国	香 川	備 考
テレビ契約数	数 値	33,542,701	1,164,034	283,363	(単位：契約数)
	全国比	100%	3.5%	0.8%	
衛星放送契約数	数 値	2,357,832	92,415	19,193	(単位：契約数)
	全国比	100%	3.9%	0.8%	

### 4. 情報サービス業

(H 2 . 11 末現在)

項 目		全 国	四 国	香 川	備 考
事業所数	実 数	7,042	174	42	
	割 合	100%	2.4%	0.6%	
従 業 員 数	実 数	458,462	5,937	1,568	
	割 合	100%	1.3%	0.3%	
年間売上高	実 数	58,727	608	178	(単位：億円)
	割 合	100%	1.0%	0.3%	

### 5. コンピュータ実働状況

(S 63.11 末現在)

項 目		全 国	四 国	香 川	備 考
コンピュータ 実働台数	数 値	410,332	8,756	3,437	
	全国比	100%	2.1%	0.8%	
コンピュータ 全体の金額	数 値	105,283	1,136	492	(単位：億円)
	全国比	100%	1.1%	0.5%	

参考-2

## 香川経済同友会情報化委員会経過

平成2年3月29日：第1回情報化委員会 講演

香川大学 経済学部教授 川本和明氏

「地域開発と情報化戦略」

平成2年4～5月：[テーマ及び委員会の進め方についてアンケート]

平成2年6月20日：第2回情報化委員会及び第1分科会勉強会

・委員会の進め方について、二つの分科会を決定

第1分科会 企業における情報化のあり方

第2分科会 地域社会の情報化の進め方

・勉強会

NTT企業通信システム本部

製造業第2システム事業部長 田中軍治氏

「企業に於ける情報化の現状と展望」

平成2年7月18日：第2分科会勉強会

富士通 地域情報化推進統括部担当部長

五十嵐文雄氏

「地域に於ける情報化の現状」

平成2年8月22日：第1分科会勉強会

日本IBMエグゼクティブ研修担当

主管研修担当部員 石川睦男氏

「戦略的情報通信システム(SIS)の概要」

平成2年10月17日：第2分科会勉強会

香川県企画部情報管理課長 松本秀政氏

「香川県下の情報化施策の現状」

平成2年11月21日：第2分科会自由討議

・香川地域の情報化の取り組みについて

- 平成2年12月12日：第1分科会自由討議
- ・香川地域の情報化の取り組みについて
  - ・情報装備化のアンケートの提案
- 平成2年12月18日：主査打ち合わせ
- ・情報装備化に関するアンケート案の検討
- 平成2年12月19日：第3回情報化委員会
- ・両分科会の状況報告と意見交換
  - ・情報装備化に関するアンケートの決定
- 平成3年1月：[情報装備化に関するアンケートの実施]  
(対象：情報化委員会メンバー)
- 平成3年2月6日：第1分科会
- ・アンケート結果の報告
  - ・提言素案の討議
  - ・提言素案のアンケート(意見収集)の決定
  - ・委員長交替
- 平成3年2月28日：第2分科会
- ・アンケート結果の報告
  - ・提言に関する意見収集結果の報告
  - ・提言素案の討議
- 平成3年3月19日：第4回情報化委員会
- ・石丸尚志事務局長講話  
「情報化に関する地域開発構想」
  - ・提言素案の検討
    - ①香川情報通信センター(仮称)の設置
    - ②人材育成のための諸施策の推進
    - ③情報化に対する企業経営者の心構え
  - ・先進地域の見学を提案

- 平成3年4月24日：情報化委員会主催講演会  
NTT取締役四国支社長 佐田啓介氏  
「四国の情報通信と企業における今後の情報化  
について」
- 平成3年5月28日：第5回情報化委員会  
・先進地域の視察について意見交換
- 平成3年6月26日：第6回情報化委員会  
・先進地域視察先の決定  
・視察における質問事項の検討
- 平成3年7月19日：先進地域視察  
・(株)つくば研究支援センター  
20日：先進地域視察  
・(財)日立シビックセンター
- 平成3年9月17日：第7回情報化委員会  
・先進地域視察の反省  
・提言骨子の検討  
①高度情報通信センターに絞る  
②港頭地区開発特別委との合同委員会の開催
- 平成3年10月9日：第8回情報化委員会  
(港頭地区開発特別委との合同委員会)  
・港頭地区特別委員会の状況報告  
・情報化委員会の状況報告
- 平成3年12月6日：第9回情報化委員会  
・提言案の検討  
「高松港頭地区開発構想における高度情報通信  
センターの情報化機能の充実」



参考- 3

香川経済同友会「情報化委員会」委員名簿

[代表幹事]	多田野康雄	(株)タダノ	代表取締役会長
	丸山 修	南海プライウッド(株)	代表取締役社長
[委員長]	辰村 裕司	日本電信電話(株)高松支店	支店長
[副委員長]	井上 清	(株)サムソン	代表取締役専務
[常任幹事]	鎌田 正隆	鎌田醤油(株)	会長
	神原 博	神原薬業(株)	代表取締役社長
	中平五洲男	高松信用金庫	理事長
	牟禮 昌忠	牟禮印刷(株)	代表取締役社長
[幹 事]	綾 孝幸	(株)四国電子計算センター	代表取締役社長
	乾 篤之	大豊産業(株)	代表取締役社長
	井山 明	(株)エフエム香川	代表取締役社長
	尾崎 忠夫	伸興電線(株)	代表取締役社長
	日下 善博	(株)日立製作所四国支社	支社長
	小島 保紀	(株)エスピーエフ	代表取締役社長
	佐久間信一	(株)富士銀行高松支店	支店長
	鈴木 武文	(株)ユパック	代表取締役社長
	灘波敬一郎	香川トヨタ自動車(株)	代表取締役社長
	南保 正義	(株)シムリー	代表取締役社長
	仁尾 正康	四国総合信用(株)	代表取締役社長
	人見 八郎	セコム(株)四国統轄部	統轄部長
	松本 一末	(株)南海	代表取締役社長
[委 員]	綾田 和秀	(株)西部インフォメーション	代表取締役
	井上 昭三	NTTデータ通信(株)四国支社	高松支店長
	大谷 一良	(株)大文水産	代表取締役
	川口 勝	興和建設工業(株)	代表取締役
	木村 幸一	富士通(株)高松支店	支店長
	佐々木健司	松下電器産業(株)四国支店	支店長
	高杉 好則	(株)コーヨーカンパニー	代表取締役
	西井 俊昭	(株)四国日立ビジネス機器	代表取締役
	菱谷 龍二	ハイスキー食品工業(株)	代表取締役
	真鍋 厚	日本アイ・ビー・エム(株) 四国第一営業部	高松営業所長
	森部 正義	四国工業写真(株)	代表取締役
	吉田 道数	ナスタウン出版(株)	代表取締役
[事務局]	石丸 尚志	香川経済同友会	常任幹事事務局長
	熊谷 孝三	香川経済同友会	調査部次長

高松港頭地区開発構想への対応

## 高度情報通信センターの 情報化機能の充実についての提言

—四国における高度情報拠点の形成をめざして—

---

平成 4 年 3 月 30 日発行

発 行 香川経済同友会

兼任幹事 石丸 尚 志  
事務局長

〒760 高松市紺屋町 1-3  
紺屋町清水ビル 6 階

TEL 0878--21--8754

FAX 0878--23--1160

---

香川経済同友会提言 No. 8